

令和3年度(2021年度)

管理事業名	介護保険サービス整備等事業			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり 施策 3 介護保険制度の安定的運営
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 3 老人福祉費	
部局名	福祉部	予算執行所属	高齢福祉室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)民生費(項)社会福祉費(目)老人福祉施設整備費積立金 介護保険サービス整備等事業				
事業の目的と概要 (1)目的 質の高い介護サービスを安定的に供給できるよう、持続可能な介護保険制度の運営に努めること。 (2)概要 ・高齢者保健福祉施策や介護保険事業の目標などを定めた高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を3年ごとに策定します。 ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標達成に向け、社会福祉法人等に対し整備、改修に係る費用の一部助成を行います。 ・指定管理制度(利用料金制)を導入している介護保険施設の大規模な修繕と工事を市が実施します。 ・資格取得に取り組む介護サービス事業者に対する支援や合同面接会の実施など、介護人材の確保に取組みます。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
介護資格取得支援事業の利用者数	人	24	35	46	介護資格取得支援事業補助金を活用し、介護職員初任者研修または介護福祉士実務者研修を受講した延べ人数
地域密着型サービスの整備数	箇所	7/16	9/16	3/7	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における累積整備数(整備数/目標整備数)
成果の説明	介護職員の資質向上及び定着促進を目的として平成30年度から開始した介護資格取得支援事業補助金の利用者は、事業開始以降増加傾向にあり、令和3年度には延べ46名の介護職員が本事業を活用し研修を受講しました。 地域密着型サービスの整備数については、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(計画期間令和3年度～令和5年度)で7か所を目標にしており、令和3年度は3か所の選定を行いました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	1,609	1,620	1,474	△146
国庫支出金(経常費用充当)	14,868	44,610	9,887	△34,723
府支出金(経常費用充当)	41,998	41,693	273,915	232,222
財産収入	-	-	2	2
寄附金	53	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	2	2	2	-
その他	308	695	380	△315
経常収入 小計(a)	58,838	88,621	285,660	197,039
給与関係費	35,017	30,123	29,598	△525
物件費	18,685	96,020	7,182	△88,838
維持補修費	7,341	4,348	20,646	16,297
社会保障扶助費	330	337	445	108
負担金・補助金・交付金等	58,417	294,018	367,474	73,456
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	93,198	92,020	88,117	△3,903
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,997	2,564	2,405	△159
退職手当引当金繰入額	△81,710	△2,660	2,437	5,096
支払利息	7,568	3,547	1,474	△2,073
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	141,844	520,316	519,777	△540
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△83,006	△431,696	△234,117	197,579
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	3,132	-	-	-
特別収入 小計(d)	3,132	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	3,132	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△79,875	△431,696	△234,117	197,579
一般財源充当額	159,731	386,702	128,178	△258,524
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	79,856	△44,994	△105,939	△60,945

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
府支出金(経常費用充当)	府の支出金を利用した介護サービス事業所の整備費用等への補助金252,269千円(211,118千円の増)
物件費	吹田市介護老人保健施設連絡橋撤去工事△82,148千円(皆減)
負担金・補助金・交付金等	介護施設等における新型コロナウイルス感染症拡大防止支援事業21,673千円(皆増)・高齢者施設等におけるPCR検査等実施支援事業11,936千円(7,244千円の増)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	58,838	88,621	338,762	250,141
行政サービス活動支出	141,015	433,668	431,371	△2,297
行政サービス活動収支差額	△82,177	△345,047	△92,608	252,439
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	2,482	4,050	2	△4,048
投資活動収支差額	△2,482	△4,050	△2	4,048
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	75,071	37,605	35,567	△2,038
財務活動収支差額	△75,071	△37,605	△35,567	2,038
収支差額 合計	△159,731	△386,702	△128,178	258,524
一般財源充当額	159,731	386,702	128,178	△258,524
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	府の支出金を利用した介護サービス事業所の整備費用等への補助金252,269千円(211,118千円の増)
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
65歳以上高齢者1人あたりコスト	令和元年度	89,136 人	1,591 円	令和4年3月31日現在の吹田市65歳以上人口で算出し、令和3年度は1人あたり、5,772円のコストがかかっています。
	令和2年度	89,694 人	5,801 円	
	令和3年度	90,049 人	5,772 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	38,131	2,535	△35,596
未収金	-	-	-	地方債	35,567	-	△35,567
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	2,564	2,405	△159
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	6,265,303	6,180,599	△84,704	その他流動負債	-	130	130
土地	4,324,801	4,324,801	-	固定負債	23,136	76,556	53,420
建物・工作物	1,940,503	1,855,798	△84,704	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	23,136	23,584	448
無形固定資産	7,200	7,200	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	52,972	52,972
土地	-	-	-	負債の部合計	61,267	79,091	17,824
建物・工作物	-	-	-	純資産	6,570,520	6,464,582	△105,939
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	25,500	22,087	△3,413	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	333,784	333,786	2
投資その他の資産	333,784	333,786	2	出資金	100,000	100,000	-
出資金	100,000	100,000	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	233,784	233,786	2
基金	233,784	233,786	2	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	6,631,788	6,543,673	△88,115
資産の部合計	6,631,788	6,543,673	△88,115	負債及び純資産の部合計	6,631,788	6,543,673	△88,115

Ⅲ 財務構造分析

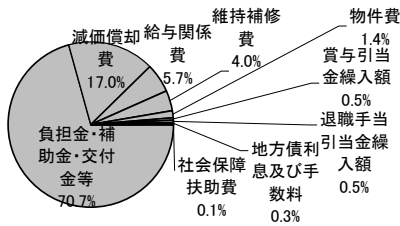
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		会計年度任用等		特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事日数	年間従事日数	年間従事日数		
事業従事人数	4.07人	0日	0日	29日		34,440
給与関係費等	33,970千円		226千円	244千円		
内、時間外勤務手当	201千円					

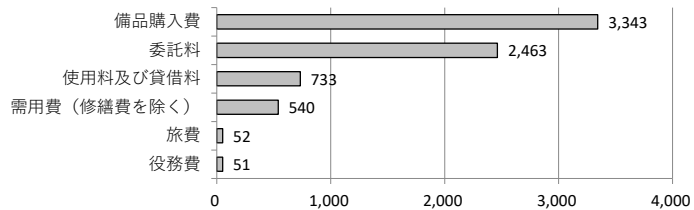
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	市立介護保険施設(全6施設)の減価償却により84,704千円の減
固定負債 その他固定負債	吹田市北千里保育園跡地内指定地域密着型サービス等施設設置事業に係る一般定期借地権設定契約に係る前払賃料収入により52,972千円の皆増

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市介護老人保健施設 ほか
取得年月日	平成4年6月 ほか
建物・工作物の取得価額	4,135,605 千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,279,806 千円
利用料金収入	1,474 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率	0.2	0.1	0.5	0.4
施設老朽化比率	50.7	53.1	55.1	2.0
受益者負担比率	1.1	0.3	0.3	0.0
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	73.1	81.4	27.5	△ 53.9
経常費用対公共資産比率	3.2	12.6	12.6	0.0

[参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%]

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・建物の老朽化比率は55.1%となっており、市保有施設全体の老朽化比率(57.6%)を2.5ポイント下回っています。
 ・経常費用約5.2億円の70.7%を負担金・補助金・交付金等が、17.0%を減価償却費が占めています。負担金・補助金・交付金等の経費は、主に府の支出金を利用した介護サービス事業所の整備費用等への補助金(252,269千円)によるもので、他には、軽費老人ホームに対する事務費補助(67,428千円)や、介護サービス事業所への新型コロナウイルス感染症によるかかり増し費用の補助金(21,225千円)等が含まれます。減価償却費は、市立介護保険施設の建物及び工作物における減価償却(△84,704千円)によるものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業の成果指標である介護資格取得支援事業の利用者数は、過去3年間で増加傾向にあります。
 地域密着型サービスの整備については、府支出金を財源とする補助制度を活用して整備を促進していますが、土地の価格が高いことや介護人材不足などの理由で目標整備数に達していません。
 第8期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で重点取組と定めた介護人材確保策については、介護保険制度の持続可能な運営のための重要な課題と認識しており、介護人材の質の向上と確保・定着の促進に継続して取り組みます。
 また、介護保険施設等については、今後も既存施設の老朽化に伴う維持補修費の増加が見込まれます。厳しい財政状況の中、財源確保が困難となるものと想定され、効率的・効果的に維持補修を行っていくことが必要と考えます。
 吹田市介護老人保健施設は平成4年(1992年)に建設後、30年が経過し、老朽化が進んでいます。大規模な改修工事のみならず、施設の附帯設備、また備品に関しても経年劣化が進んでおり、計画的な修繕及び備品更新計画を立て、予算の確保を行う必要があります。デイサービスセンターやグループホーム等の市保有の施設全体も老朽化が進み、限りある財政状況の中では、維持補修等に関する経費を平準化し、計画的な予算執行を行う必要があります。